



沖縄県立首里東高等学

学校だより

第5号



令和7年6月18日(水)

発行者 校長 伊志嶺嘉典

東 雲

~~ 2学年 E-プロ ~~

先日6月4日(水)「総合的な探究の時間」において、2 学年を対象に**職業人講話**を実施しました。本校の卒業生を中心に、様々な分野でご活躍されている方々にご協力いただきました。この職業人講話は、本校の特色ある取り組みとして推進している **PBL 教育** (Project Based Learning の略称) の一環として行っており、日本語では「**課題解決型学習**」や「**問題解決型学習**」などと訳されます。グローバル化や情報化が進展し、変化のスピードが速く、複雑化、多様化する現代社会では、**自ら学び、考え、行動できる**人材を育成することが重要だと考えられるようになり、文部科学省も PBL 教育を推進しています。

生徒たちは今回提示された探究テーマに基づき、11 月の報告会に向けて探究活動を進めていきます。講師の皆様には、専門的な**講話**に加えて、実践的な**指導助言**、そして報告会での**講評**まで、多岐にわたりご支援をいただきます。どうぞよろしくお願いいたします！

【講師紹介】

普久原 聖様 (株式会社 Nice 不動産)
平安山良斗様 (浦添市議会議員)
真栄田義仁様 (那覇市消防局)
當山 弘崇様 (株式会社エコエンジニア工業)
久地政智様 (沖縄トヨタ自動車株式会社)
ゴージャス理枝様 (一般社団法人女性を元気にする会)



校内進学ガイダンスを実施しました！

先日、本校の2・3年生を対象に、校内進学ガイダンスを実施しました。これは、生徒たちが自身の進路について深く考え、主体的に学びや学校生活に取り組む意欲を喚起する機会とすることなどを目的に開催しています。ガイダンスには、28の大学・専門職大学、27の専門学校に参加いただき、生徒たちは多岐にわたる選択肢に触れることができました。会場内には、留学について相談できる留学相談コーナーや、現役大学生から直接、リアルな様子を聞けるブースも設けられました。

生徒たちは自身の興味や希望する進路に合わせて自由にブースを選択し、それぞれの担当者から説明を受けていました。特に印象的だったのは、卒業後の進路実現が目前に迫る3年生が、真剣な表情で話に耳を傾けていたことです。生徒たちは、自分が何を学びたいのか、そして自分にとって最



適な学校や学部はどこなのか、より具体的なイメージを描くことができたのではないのでしょうか。

進路決定は、生徒にとっても保護者にとっても、人生における**大きな節目**です。今回のガイダンスが、生徒一人ひとりが自身の目標に向かって、一歩ずつ着実に進んでいくための一助となることを期待しています。